

事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン共和国
2. 事業名	マニラ首都圏を含む 11 地域の児童福祉施設及び自治体における子ども達の支援体制強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	本事業では、2 つの研修プログラムの実施の充実を図り、児童福祉施設の子ども達及び地域の子どもたちの更生と健全な成長を促進する支援体制の構築を目指す。まず一つは、フィリピンでは法に触れた子ども達が受ける更生プログラムが十分に実施されていない上に、プログラム内容も不十分であるという課題に対して、効果的な更生プログラムの作成と実施体制を構築することにより、子ども達の円滑な社会復帰と再犯及び将来の犯罪の関与の予防を目指す。もう一つは、児童福祉施設職員であるハウスペアレントに対しての教育が十分に行われていないという課題を受け、先行する JICA 草の根技術協力 2 案件を通じて「ハウスペアレント研修規定」を作成し、制度化した研修の全国展開を実施する。本事業では、全国で約 4 万人いる施設で暮らす子ども達により良いサービスを公平に提供するため、児童福祉施設で直接子ども達のケアにあたるハウスペアレントを対象にした研修のトレーナーをフィリピン全国(9 地域)で育成することにより、スムーズな全国展開と強固な実施体制の構築を目指す。
4. プロジェクト目標	全国 11 地域において、児童福祉施設の子ども達及び地域の子ども達の更生と健全な成長を促進する支援体制が構築される
5. 対象地域	フィリピン共和国全土(ミンダナオ島を除く)
6. 管轄する在外公館	在フィリピン日本大使館、在セブ領事事務所
7. 受益者層 (ターゲットグループ)	<p><青少年更生施設及び補導された子ども達へのライフスキル向上プログラム導入>直接受益者: 青少年更生施設の職員約 200 名(6 施設)、自治体の福祉局職員約 27 名(9 自治体)、青少年更生施設の子ども及び補導された子ども約 204 名/間接受益者: 対象地域の青少年更生施設の子ども達約 480 名、対象の 9 自治体の補導された子ども及びその可能性の高い子ども約 5,000~6,000 名</p> <p><ハウスペアレント能力強化研修全国展開>直接受益者: ソーシャルワーカー 約 225 名/間接受益者: 児童福祉施設ハウスペアレント及びソーシャルワーカー 3,000 名・入所児童 40,000 名</p>
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット>【①ライフスキル向上プログラム導入】</p> <p>成果 1: 青少年更生施設で保護されている子ども達や自治体で補導された子ども達用のライフスキル向上プログラムハンドブックが製本化される</p> <p>成果 2: 子ども達に対するライフスキル向上プログラムの実施を通じて、マニラ首都圏と中部ルソン地域の青少年更生施設職員と自治体の福祉局職員の能力が向上する</p> <p>成果 3: ライフスキル向上プログラムが少年福祉法審議会及び子ども福祉審議会の公式プログラムとしての採用に向けて提言される</p> <p>【②ハウスペアレント能力強化研修全国展開】</p> <p>成果 4: フィリピン全国 9 地域でハウスペアレント向け能力強化研修のトレーナーが育成される</p> <p><活動>【①ライフスキル向上プログラム導入】</p> <p>先行事業でのライフスキル向上プログラムを青少年更生施設で保護されている子ども達及び補導された子ども達の特性に合わせて改良する。加えて、青少年更生施設職員と自治体の福祉局職員に対してライフスキル向上プログラムの指導方法を学ぶ研修を実施する。更に、ライフスキル向上プログラムの公式プログラム化に向けた提言活動を行う。</p> <p>【②ハウスペアレント能力強化研修全国展開】</p> <p>全国 9 地域のソーシャルワーカーに対してハウスペアレント向け能力強化研修の指導員育成のためのトレーナー育成研修を実施する。</p>
9. 実施期間	2021 年 3 月～2024 年 3 月(3 年 0 ヶ月)
10. 事業費概算額	109,783 千円
11. 実施体制	相手国のパートナー機関: 社会福祉開発省(DSWD)、少年福祉法審議会(JJWC)
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人アクション
2. 活動内容	子ども達の生きるチカラを育むために、26 年間フィリピンで活動を実施。児童福祉施設や貧困地域の子ども達への職業訓練(美容師育成やセラピスト育成)やライフスキル向上のための活動、子どもに優しい社会の形成を目指した政策提言等を実施。